



白川いいで発電所 (クロスフロー水車と発電機、取水工除塵機)

〈目 次〉

理事長あいさつ.....	2	賦課期日、徴収方法、届出のお願い.....	9
通常総代会開催、平成29年度財産目録.....	3～4	白川いいで発電所開所式、新規事業、施設見学.....	10
平成29年度決算報告.....	5	表彰、通水安全祈願祭、維持管理組合長名簿.....	11
令和元年度一般会計・特別会計予算.....	6～7	お願い・お知らせ、事務局構成.....	12
令和元年度賦課額一覧表・令和元年度決済金一覧表.....	8		

平成三十年度

通常総代会挨拶



白川土地改良区

高橋 昭一

平成最後となりましたこの冬は、積雪も少なく、春の香りが日々感じられる今日、総代各位には春作業を前に何かとご多用の中、ご出席頂き大変ありがとうございます。

ご来賓の置賜総合支庁 豊嶋産業経済部長様、川西町 原田町長様、長井市 桐生農林課長様、飯豊町 齋藤農林振興課長様、置賜総合支庁農村計画課 武田課長補佐様には、議会開会中であり、年度末のご多忙の中、ご臨席を承り、日頃のご指導への感謝と併せて御礼を申し上げます。

昨年の用水であります。白川ダム開設から三十八年最大の渇水となりました。水源確保のため、ダムの底水放流の申請、犬黒幹線へのポンプの設置等、できうる対策を講じてまいりましたが、通常の水量の確保はままならず、水利委員はもとより、組合員、役員、必死の思いで節水と公平な配水に努めていただき、大変なご苦労をおかけしたところであります。枯死等の最悪の事態は避けられましたが、作況が九十七のやや不良となり、高温、熱波、他の要因もあり、実態は更なる減収になったと思えます。

原因として、他地区で大雨豪雨災害が発生する中、白川ダム周辺は平年の二十%しか降雨がなかったこと。白川ダムの機能が多目的ダムであること等がありますが、ダム管理者との情報の共有、協議を密にし、農業用水の確保を強く要請し、この経験を教訓とし、再び繰り返し

てはならない覚悟で業務にあたっていきたいと思えます。非かんがい期水利権であります。昨年八月、正式に許可通知を頂いたところであります。平成十八年から十二年間、各方面への要請活動、協力要請、求めに応じて調査検証、決して穏やかな道のりではなかったと思えます。農業用水として周年通水を頑なに願望し続け、積年の悲願達成と万感の思いであります。

近年、河川管理者の審査が厳しく新規の取得が難しい中、協議に当たって頂きました西奥羽土地改良調査管理事務所をはじめ、関係機関の方々に改めまして感謝を申し上げます。周年通水により、本来の使用目的と合わせ、水の持つ多面的利用を地域の方々に広く享受して頂ければ幸いです。

又、白川いいで発電所が昨年十一月に稼働しましたが、山形県のご配慮により、専用水利権も取得でき、通年フル稼働ができ、計画以上の発電ができるものと期待しているところであります。

震災による原発事故以来、クリーンエネルギーへの要望が世論となり、水を管理するものとして、社会貢献ができればとの思いで計画したものであります。又、小学生等の学習、見学会にも活用して頂き、水の新たな機能が広く地域に理解され、水の大切さ、重要性と同時に土地改良区の果たす役割が広く認知されることを期待するものであります。

基盤整備事業であります。現在六地区約六百五十ヘクタール、県内一の規模で行われております。三十年度こうづく地区が完了し、三十一年度大塚北部地区が申請予定であります。事業の円滑な進行は、予算確保が重要であり「戦う土地改良」のもと組織を上げての要請活動、政治的発言力の強化により、他の公共事業予算が伸びない中、T P P対策や防災減災対策も加わり、順調に伸びており、対前年比百二十%となり、各事業地区共、要求額を上回る内示を頂き、喜んでいらっしゃるところであります。ご負担をいただきます。特に原田町長様には特段のご理解を頂き感謝申し上げます。

大区画となった地区では、省力化や機械利用の効率化による大幅なコストダウン、畑地化による高収益作物により所得の向上、法人化への取り組み等、未来志向の農業像がビジョン化されております。地域の産業振興は農

業振興にあり、その根幹は基盤整備にありの思いで取り組んでいるところであります。

本日の総代会は第十三代総代として最初の通常総代会であり、本区は年一回の開催ですので二十九年度の事業報告、決算と三十年度の補正、定款変更、三十一年度の計画、予算と三カ年に渡るご決議、承認を頂くこととなります。申すまでもなく、本区最高の意思決定機関でありますのでご審議を宜しくお願い申し上げます。特に来年度賦課額を二百円下げまして、四千六百円としたところであり、昨年の米不作への対応と合わせ、各種積立金も充ち上がったこと、経費の効率的支出に努めることにより、当面運営に支障をきたさないことから提案させて頂くこととしました。又、賦課金の未収金に伴う欠損処理をお願いするものであります。当時の役員で督促を進めてまいりましたが、全額徴収に至らない中、本人の死亡、相続人不在、農地としての機能がない等、回収の道が閉ざされたものであります。何卒、ご理解の上ご承認賜りますよう、お願い申し上げます。

賦課金は運営の財源であり、公平性の面からも徴収には最大限努力しているところであります。近年徴収率も九十九・七パーセント以上となり、過年度分においてもピーク時の半分以下の残高となっております。役員共にも更なる徴収努力をされているところであり、よろしくお願いを申し上げます。

結びになりますが、素晴らしい田園風景、緑あふれる山並み、豊かな海、伝統ある古里、我が国の国柄を守ってきたのは全国各地の農林水産業です。豊こそ国の基です。これは今国会の安倍総理の施政方針演説の一説であります。農業は食糧生産のみならず、広く社会に貢献されていることを評価したものであり、それを礎として支えているのが土地改良であると自負しているところであります。

本区は昭和四十五年設立認可以来、半世紀、先人が営々として守り育んできた歴史と伝統を守り、時代とともに進化させながら後世に伝えていくのが我々の責務と心得、業務にあたってまいりますので、総代各位の更なるご理解、ご支援をお願い申し上げます。

平成三十一年度

通常総代会開催

全議案原案どおり可決

平成三十一年度通常総代会が去る三月十二日午後一時三十分より本区事務所に於いて開催されました。

総代定数五十名中四十六名が出席し、山形県置賜総合支庁産業経済部長 豊嶋克彦様、川西町長 原田俊二様の来賓祝辞、長井市農林課長 桐生芳弘様、飯豊町農林振興課長 齋藤浩様、置賜総合支庁農村計画課長補佐 武田健次様の来賓紹介の後議長に川西町上小松嶋貫諭総代が選任され全議案原案通り可決されました。

豊嶋産業経済部長

原田川西町長



議事

- 報第一号 平成二十九年事業報告の承認について
- 認第一号 平成二十九年一般会計歳入歳出決算書の承認について
- 認第二号 平成二十九年特別会計基幹水利施設管理事業歳入歳出決算書の承認について
- 認第三号 平成二十九年特別会計償還事業歳入歳出決算書の承認について
- 認第四号 平成二十九年特別会計基盤整備事業歳入歳出決算書の承認について
- 認第五号 平成二十九年特別会計地区除外等処理決済金歳入歳出決算書の承認について
- 認第六号 平成二十九年特別会計職員退職給与基金積立歳入歳出決算書の承認について
- 認第七号 平成二十九年特別会計役員退任慰労金積立歳入歳出決算書の承認について
- 認第八号 平成二十九年特別会計特別積立金歳入歳出決算書の承認について
- 認第九号 平成二十九年特別会計基本財産積立金歳入歳出決算書の承認について
- 認第十号 平成二十九年財産目録の承認について
- 認第十一号 専決処分した事件の承認について
- 認第十二号 白川土地改良区会計細則（複式簿記方式）の承認について
- 議第一号 平成三十一年度特別会計土地改良事業歳入歳出第2回補正予算（案）の議決について
- 議第二号 平成三十一年度政策公庫資金（農林水産事業）の借入金額の変更について
- 議第三号 区有財産の付け替え（処分）について
- 議第四号 白川土地改良区賦課金の不納欠損処分に
ついて

- 議第五号 平成三十一年度事業計画の議決について
- 議第六号 土地改良施設維持管理適正化事業資金の
拠出議決について
- 議第七号 定款の一部改正（案）の議決について
- 議第八号 平成三十一年度一般会計賦課金の賦課基
準及び賦課徴収方法の議決について
- 議第九号 平成三十一年度役員報酬額及び総代、役
員の費用弁償額の議決について
- 議第十号 平成三十一年度一般会計歳入歳出予算
（案）の議決について
- 議第十一号 平成三十一年度一時借入金の議決につ
いて
- 議第十二号 平成三十一年度特別会計基幹水利施設
管理事業歳入歳出予算（案）の議決について
- 議第十三号 平成三十一年度特別会計償還事業賦課
金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について
- 議第十四号 平成三十一年度特別会計償還事業歳入
歳出予算（案）の議決について
- 議第十五号 平成三十一年度特別会計土地改良事業
賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について
- 議第十六号 平成三十一年度特別会計土地改良事業歳
入歳出予算（案）の議決について

開会のあいさつ
高橋副理事長

議長
嶋貫諭総代





監査報告 横山総括監事



質問する 中村総代

議第十七号 平成三十一年度政策公庫資金（農林水産事業）の借入及び償還方法の議決について
 議第十八号 平成三十一年度一時借入金の議決について
 議第十九号 平成三十一年度決済金の額の議決について
 議第二十号 平成三十一年度特別会計地区除外等処理決済金歳入歳出予算（案）の議決について
 議第二十一号 平成三十一年度特別会計職員退職給与基金積立歳入歳出予算（案）の議決について
 議第二十二号 平成三十一年度特別会計役員退任慰労金積立歳入歳出予算（案）の議決について
 議第二十三号 平成三十一年度特別会計特別積立金歳入歳出予算（案）の議決について
 議第二十四号 平成三十一年度特別会計基本財産積立金歳入歳出予算（案）の議決について
 議第二十五号 事業積立金の処分について
 議第二十六号 平成三十一年度特別会計発電事業歳入歳出予算（案）の議決について
 議第二十七号 平成三十一年度加入金の額の議決について



質問する 大滝総代



質問する 井上総代



挙手による採決

平成29年度 財産目録

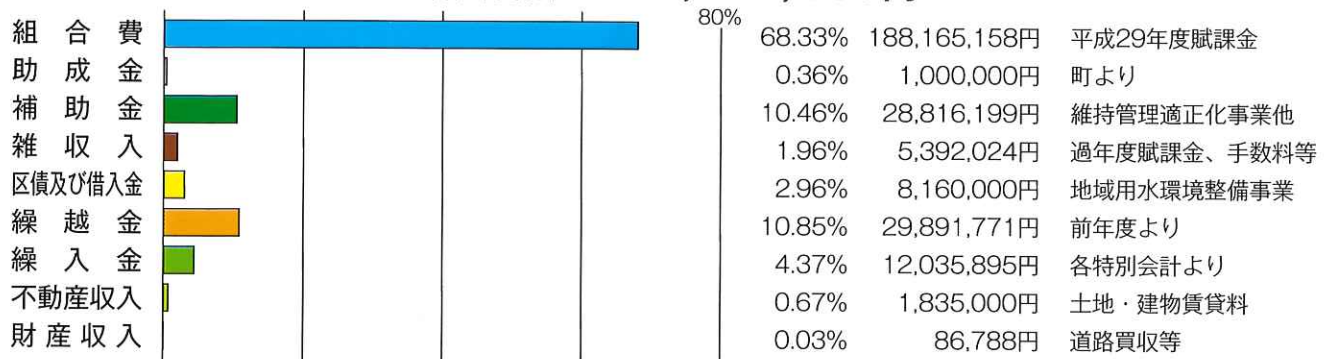
(単位：円)

摘 要			金額	摘 要			金額	
流動資産	現金及び預金	預 金	53,115,698	長期負債	借 入 金	日本政策金融公庫	296,814,854	
	未 収 入 金	未 収 金 賦 課 金	19,558,072					
			30,677,514				416,182,951	
固定資産	有形固定資産	建 設 設 備	27,471,152	短期負債	借 入 金	運 営 資 金	0	
		機 械 器 具	791,878			地区除外等処理決済金	19,338,850	
		備 品	2,414,484			職員退職給与基金積立金	38,883,264	
	その他固定資産				436,443,573	積 立 金	役員退任慰労金積立金	4,090,603
		基 本 財 産	320,554,535				特 別 積 立 金	52,655,321
特 定 資 産	115,889,038			基 本 財 産 積 立 金	301,214,913			
資 産 合 計			539,794,857	負 債 合 計			712,997,805	

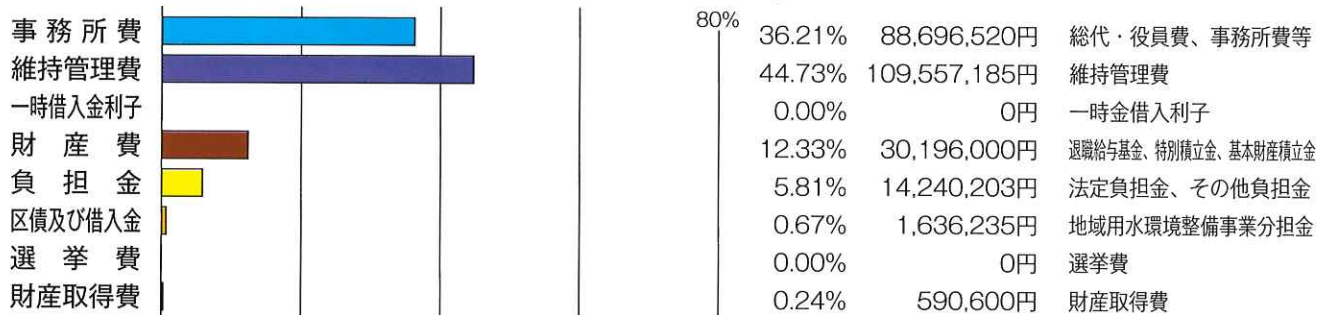
平成29年度 会計決算の報告

一般会計

歳入合計 275,382,835円



歳出合計 244,916,743円



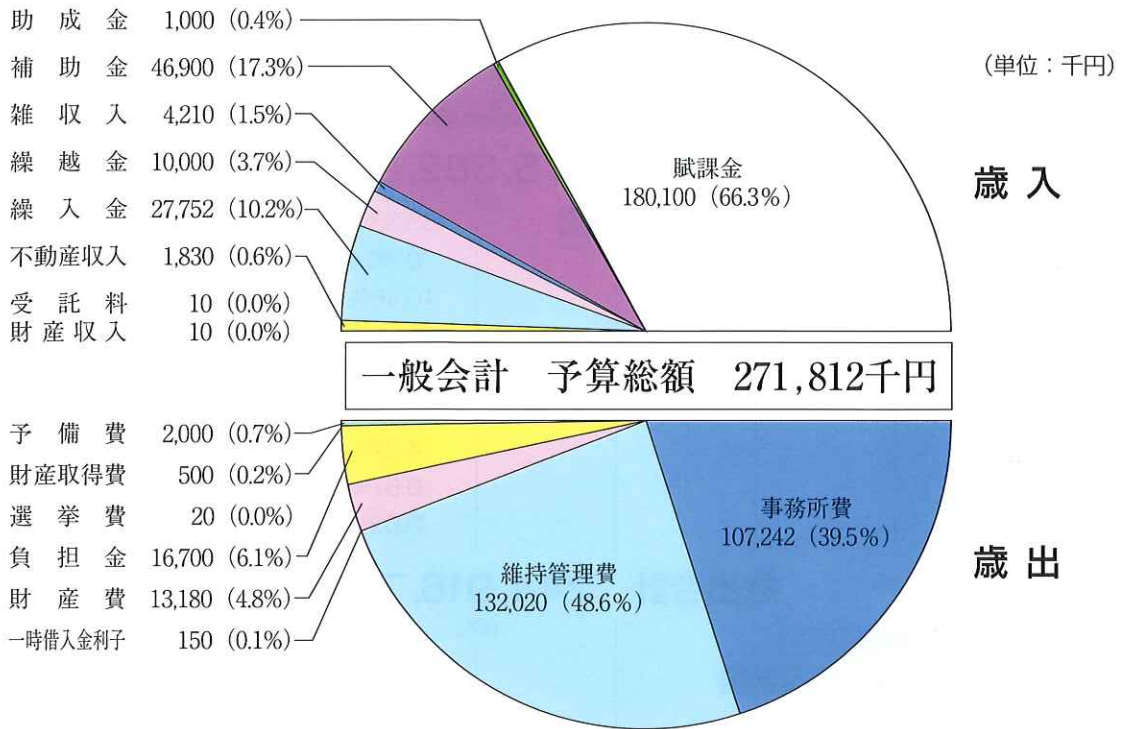
繰越額 30,466,092円

特別会計

(単位:円)

項目	歳入合計	歳出合計	差引繰越額
基幹水利施設管理事業	30,075,076	30,075,076	0
償還事業	21,953,305	11,121,241	10,832,064
基盤整備事業(こうずく地区)	37,767,330	33,562,776	4,204,554
基盤整備事業(宮地地区)	24,903,401	21,907,860	2,995,541
基盤整備事業(谷地地区)	11,183,745	10,482,517	701,228
基盤整備事業(大塚西部地区)	36,511,161	34,384,054	2,127,107
基盤整備事業(手ノ子地区)	19,848,917	18,946,234	902,683
基盤整備事業(中大塚地区)	14,112,313	13,225,884	886,429
地区除外等処理決済金	19,938,850	600,000	19,338,850
職員退職給与基金積立	92,179,064	53,615,800	38,563,264
役員退任慰労金積立	4,090,603	0	4,090,603
特別積立金	58,454,263	5,798,942	52,655,321
基本財産積立金	308,667,049	7,452,136	301,214,913

令和元年度 一般会計予算のあらまし



令和元年度 特別会計予算総括表

(単位：千円)

歳入

◎ 特別会計基幹水利施設管理事業

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
基幹水利施設管理事業	20,830	21,210	基幹水利施設管理事業	20,830	21,210
管理体制整備促進事業	13,391	12,596	管理体制整備促進事業	13,391	12,596
計	34,221	33,806	計	34,221	33,806

歳入

◎ 特別会計償還事業

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
賦課金	6,336	6,336	繰出金	130	130
雑収入外	21,542	20,854	区債及び借入金	27,748	27,060
計	27,878	27,190	計	27,878	27,190

歳入

◎ 特別会計地区除外等処理決済金

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
決済金	1,000	1,000	繰出金	10	14,600
繰越金外	8,010	19,310	積立金	9,000	5,710
計	9,010	20,310	計	9,010	20,310

歳入

◎ 特別会計職員退職給与基金積立

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
繰入金	4,200	5,000	給与金	48,064	46,770
繰越金外	43,864	41,770			
計	48,064	46,770	計	48,064	46,770

歳入

◎ 特別会計発電事業

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
発電事業収入	13,000	-	発電事業費	3,590	-
繰越金外	0	-	発電事務費	210	-
			維持管理費他	9,200	-
計	13,000	-	計	13,000	-

歳入

◎特別会計土地改良事業

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
1. こうずく地区	44,720	4,700	1. こうずく地区	44,720	4,700
賦課金	0	188	事務費	360	750
補助金外	44,720	4,512	事業費外	44,360	3,950
2. 宮地地区	45,650	22,600	2. 宮地地区	45,650	22,600
賦課金	2,130	2,758	事務費	3,600	2,600
区債及び借入金	5,700	15,000	事業費	7,140	4,290
補助金外	37,820	4,842	分担金及び負担金外	34,910	15,710
3. 谷地地区	34,070	7,240	3. 谷地地区	34,070	7,240
賦課金	900	900	事務費	650	550
区債及び借入金	3,750	4,500	事業費	3,110	1,630
補助金外	29,420	1,840	分担金及び負担金外	30,310	5,060
4. 大塚西部地区	95,910	35,700	4. 大塚西部地区	95,910	35,700
賦課金	3,200	3,140	事務費	3,800	3,800
区債及び借入金	49,500	25,500	事業費	11,100	4,990
補助金外	43,210	7,060	分担金及び負担金外	81,010	26,910
5. 手ノ子地区	8,900	17,850	5. 手ノ子地区	8,900	17,850
賦課金	612	535	事務費	1,050	1,100
区債及び借入金	5,250	12,750	事業費	2,220	3,610
補助金外	3,038	4,565	分担金及び負担金外	5,630	13,140
6. 中大塚地区	2,070	13,360	6. 中大塚地区	2,070	13,360
賦課金	1,200	960	事務費	870	790
区債及び借入金	1	2,408	事業費	120	11,800
補助金外	869	9,992	区債及び借入金	1,080	770
7. 上萩野地区	13,550	17,321	7. 上萩野地区	13,550	17,321
賦課金	350	320	事務費	455	265
補助金外	13,200	17,001	事業費外	13,095	17,056
8. 大塚北部地区	5,060	-	8. 大塚北部地区	5,060	-
賦課金	459	-	事務費	340	-
区債及び借入金	1,288	-	事業費	4,690	-
補助金外	3,313	-	区債及び借入金	30	-
計	249,930	118,771	計	249,930	118,771

歳入

◎特別会計役員退任慰労金積立

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
繰入金	560	560	給与金	1,884	5,224
納付金	560	560			
繰越金外	764	4,104			
計	1,884	5,224	計	1,884	5,224

歳入

◎特別会計特別積立金

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
事務所修繕及び備品積立金	55,570	53,070	事務所修繕及び備品積立金	55,570	53,070
研修費積立金	4,750	4,040	研修費積立金	4,750	4,040
計	60,320	57,110	計	60,320	57,110

歳入

◎特別会計基本財産積立金

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
財政調整基金	101,240	101,050	財政調整基金	101,240	101,050
事業積立金	233,800	234,940	事業積立金	233,800	234,940
計	335,040	335,990	計	335,040	335,990

令和元年度 賦課額一覧表

(円)

賦課種別		10 a 当り 賦課総額	第1期 賦課額	第2期 賦課額	前年との比較	償還完了年度 (償還年次表による)	
一般会計	経常賦課金	4,600	4,600	-	- 200		
	経常賦課金(6/10 地区)	2,760	2,760	-	- 120		
償還事業	白川左岸地区	1,200	-	1,200	0	令和7年度	
土地改良事業	こうずく地区	0	-	0	- 200	令和23年度	
	宮地地区	2,700	-	2,700	- 800	事業中	
	谷地地区	4,000	-	4,000	0	事業中	
	大塚西部地区	2,000	-	2,000	0	事業中	
	手ノ子地区	A地区	2,400	-	2,400	300	事業中
		B地区	1,600	-	1,600	200	事業中
	中大塚地区	500	-	500	100	事業中	
	上萩野地区	500	-	500	100	事業中	
	大塚北部地区	600	-	600	600	事業中	

◆土地改良事業に係る賦課金について

賦課金の納入通知は現在経常賦課金を負担している組合員に送付されますが、事業費負担は原則所有者に負担して頂くよう説明しております。

貸借をしている方で耕作者が賦課金を負担している場合、事業費賦課金についてはお互いに話し合いの上清算されるようお願いいたします。

賦課金の完納にご協力下さい。

令和元年度 地区除外等決済金額一覧表

事業種別	㎡当り決済金額
国営土地改良事業	維持管理 52 円 37 銭
国営附帯県営土地改良事業	維持管理 12 円 85 銭
一般	維持管理 10 円 23 銭
一般(6/10地区)	維持管理 6 円 13 銭
白川左岸地区	新農業水利システム保全対策事業 3 円 54 銭
こうずく地区	事業 44 円 61 銭
宮地地区	事業 86 円 05 銭
谷地地区	調査 7 円 17 銭
	事業 132 円 59 銭
大塚西部地区	調査 3 円 48 銭
	事業 116 円 55 銭
手ノ子地区	調査 A地区 3 円 94 銭
	調査 B地区 2 円 63 銭
	事業 A地区 140 円 31 銭
	事業 B地区 93 円 54 銭
中大塚地区	調査 4 円 12 銭

公共事業等で買収されたときは忘れずに決済しましょう。

賦課期日・徴収方法

1. 賦課期日及び納期

期別	賦課期日	納入期限
1期	令和元年5月15日	令和元年 7月16日
2期	令和元年5月15日	令和元年11月15日

2. 納入方法

- ・口座振替契約者は、第1期 6月25日から納入期限までの間に、
第2期10月26日から納入期限までの間に 引き落としを行います。
- ・現金の方は改良区窓口か最寄りの山形おきたま農協窓口まで納入ください。

3. 賦課基準面積

平成31年4月1日現在の土地原簿に記載された面積により賦課します。

こんな時は必ず改良区に届出をお願いします!!

組合員資格や農地の移動があったとき

- 農地の移動（売買・交換・贈与・賃貸契約及びその解除等）
 - 農業者年金（経営移譲による）を受ける場合
 - 組合員の死亡、経営の移譲による名義変更
 - 住所、振替口座の変更
- 提出書類：組合員資格得喪通知書
- 提出書類：貯金口座振替依頼書（変更）
：住所変更届

農地を転用するとき

決済金の納付が必要です

- 宅地等への変更
 - 公共用地（道路等）買収による転用
- 提出書類：地区除外申請書、農地転用等の通知

土地改良施設を利用するとき

使用料の納付が必要です

- 家庭排水、合併浄化槽からの浄化水の放流
 - 土地改良財産を出入り口に利用
 - 公共下水道、集落排水処理施設に接続
- 提出書類：土地改良財産他目的使用承認申請書
- 提出書類：土地改良財産他目的使用中止届

◆公共機関（農業委員会・法務局等）で手続きを行っても、**土地改良区に届出がなければ台帳・賦課等の変更ができません**のでご注意ください。

各種届出用紙は土地改良区に準備しておりますので、印鑑等をご持参の上手続きをお願いします。

◆賦課金の納入には自動口座振替をご利用ください。お手続きは改良区でお願いします。

取扱い金融機関

- ・山形おきたま農業協同組合
- ・山形銀行

白川いいで発電所開所式

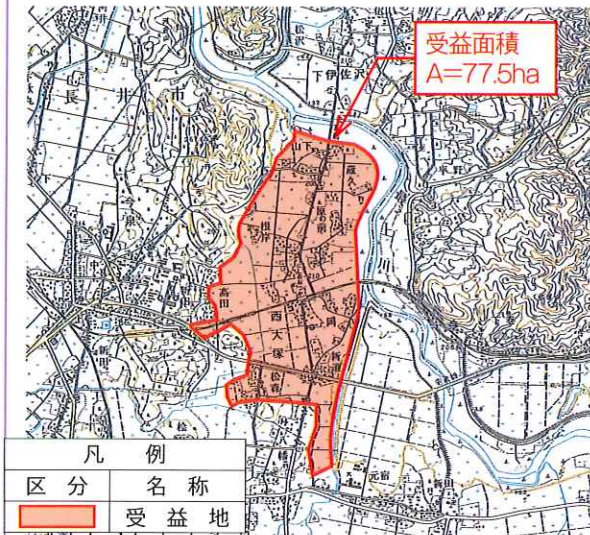
地域用水環境整備事業により飯豊町小白川地内に造成された「白川いいで発電所」の開所式、神事が、平成30年11月9日挙行されました。この発電所は、東日本大震災を踏まえて平成24年3月に策定した「山形県エネルギー戦略」に基づき、白川幹線用水路を活用した小水力発電所です。開所式当日は、船山県議会議員、青木県議会議員、清野置賜総合支庁長、木村最上川ダム統合管理事務所長、原田川西町長、後藤飯豊町長、遠藤長井副市長他、多数の関係機関の皆様にご出席いただきました。泉學寺遠藤祐覚住職により安全祈禱が執り行われ、来賓の皆様により発電始動スイッチが押下され発電が開始されました。

発電方式 流れ込み式
 最大出力 43.3kw
 水車 クロスフロー水車 1台
 発電機 三相誘導発電機



新規土地改良事業

位置図



大塚北部地区

・県営土地改良事業計画設計事業

1. 地区名 大塚北部地区
2. 施工場所 川西町大字西大塚地内
3. 事業量 A=77.5ha
4. 概算事業費 44,000千円
5. 事業期間 令和元年度～令和5年度

◆新規土地改良事業に係る賦課金について

今年度より、大塚北部地区について調査事業が始まり新たに事業に関わる地元負担が賦課されます。この賦課金の納入通知は現在経常賦課金を負担している組合員に送付されますが、事業費負担は原則所有者に負担して頂くよう説明しております。貸借をしている方で耕作者が賦課金を負担している場合、事業費賦課金についてはお互いに話し合いの上清算されるようお願いいたします。

施設見学

川西町立犬川小学校 大塚小学校
 【白川の水の道探検隊】

平成30年6月21日犬川小学校、大塚小学校4年生(24名)を対象とし、白川ダムから自分たちの地域に来る水は何処を通ってくるのか、水の道を探検しました。



川西町立小松小学校 東沢小学校
 【校外学習 施設めぐり】

平成30年7月3日小松小学校4年生(50名)を対象とし、「郊外学習施設めぐり」の一環として、長堀排水路、長瀬頭首工の見学と説明を行いました。



本区理事長 表彰

維持管理組合長表彰

平成三十一年四月十二日維持管理組合長会の席上に於いて長年維持管理組合の運営にご尽力されました六名の方々に理事長より感謝状が贈られました。

前萩生維持管理組合長	高橋 洋一様
前添川維持管理組合長	浅野 章様
前小松左岸維持管理組合長	小倉 豊助様
前他屋維持管理組合長	佐藤 嘉彦様
前小松右岸維持管理組合長	平間 永作様
前玉庭維持管理組合長	本間 昌司様



写真右より 高橋様、浅野様、佐藤様、小倉様

土地改良功労者表彰

第三十七回山形県土地改良事業推進大会が平成三十年十一月六日山形国際交流プラザ「山形ビックウイング」で開催されました。

大会席上、長年土地改良事業に貢献された人々の表彰が行われ、山形県土地改良事業団体連合会表彰状が猪股拓也管理課長に贈られました。



令和元年度 通水安全祈願祭

平成三十一年四月二十五日犬川、黒川取水塔管理所において飯豊町泉學寺の遠藤住職により安全祈願祭が執り行われました。

高橋理事長佐原維持管理組合長会長その他関係者出席の上今年の用水の安定と無事故を祈願いたしました。



維持管理委員に委嘱状交付

四月十二日開催の維持管理組合長会において維持管理組合の管理委員百七十五名に委嘱状が交付されました。その後第一回維持管理組合長会が開催され、維持管理組合長会会長に小白川維持管理組合長の佐原一治氏、副会長に今泉維持管理組合長の大河原賢司氏、黒川維持管理組合長の大木満氏が選任されました。維持管理委員の皆様には三年間よろしくお願いいたします。

任期：平成31年4月1日～令和4年3月31日

組合名	組合長
豊川	鈴木 満昭
小白川	佐原 一治
萩生	朝倉隆一郎
白川左岸	小松 康弘
添川	舟山弥一郎
歌丸	高梨 行夫
今泉	大河原賢司
西大塚	安部 栄太
大塚	吉水 幸一
小松左岸	田村 政博
他屋	荒井 浩
小松右岸	佐藤 総一
犬川下流	蛭田 恭央
玉庭	石黒 賢治
黒川	大木 満

水量調整については下記の調整員に連絡願います。

幹線水路	水路名	管理委員名
白川幹線	萩生用水路	高橋 洋一
	松原用水路	横山 清二
長瀬幹線	一本木用水路	菅野 重郎
	大塚用水路	吉水 幸一
小松左岸幹線	他屋用水路	荒井 浩
小松右岸幹線	上小松用水路	佐藤 総一
犬黒幹線	犬川上流用水路	市川 博幸
	犬川下流用水路	高橋 強
	黒川上流用水路	斎藤 亨
	黒川下流用水路	鈴木 憲和

お願い・お知らせ

かんがい用水の節水をお願い

かんがい用水として河川、ダムから取水できる水量は、許可取水量により決められた量を取水しております。

本年も節水に対する取組みについて継続的なご協力をお願いいたします。

子供を水路付近で遊ばせないよう注意しましょう。

水路の通水量は、気象条件や営農上不定期に増減して危険です。各地で農業用水路による子供の水難事故が起きております。子供を水の事故から守りましょう。

農業用の施設は組合員皆様の

大切な財産です。

近年の気象状況の変化によりゲリラ豪雨や、長雨など突発的な出水が起きる事が多くなっております。草刈り後の草や、ゴミなどを水路に流す事により水路の水が流れにくくなり水路が崩壊し、洪水になる危険が高まります。適切な管理を行い水路を守って行きましょう。

事務局構成

令和元年度

事務局構成をお知らせいたします。

総務課

課長 木全 貴子
 庶務会計係長 小関 千晶
 庶務会計係主事 横山 理子

賦課徴収係長 (木全課長兼務)

賦課徴収係主任 高橋 郭文

賦課徴収係主事 遠藤 卓郎

総務課専門員 鈴木 成一

管理課

課長 猪股 拓也

課長補佐 原 拓磨 (原補佐兼務)

維持管理係主任 手塚 怜情

維持管理係主事 新田 怜生

事業係長 (原補佐兼務)

事業係主事 後藤 葵

事業係臨時職員 保科 翔平

管理課専門員 青木 俊茂

管理課専門員 田辺 文

休日勤務

代掻き・田植え、間断かん水期は交代で出勤し対応いたします。

TEL 0238(88)9331
 FAX 0238(88)9348

新規採用

よろしくお願いたします

四月一日付 新採

管理課 事業係



保科 翔平

川西町西大塚

編集後記

昨年は白川ダムの貯水量が過去最低の0%になり、犬川黒川取水塔において、最低水位以下のいわゆる死水をポンプで取水し対応いたしました。各頭首工についても取水量が制限され用水配分調整にご苦労をおかけいたしました。

非かんがい期の水利権が正式に認められました。今までも、暫定水利権により年間を通しての通水を行っていましたが、将来に向けより安定した取水が行われます。また、小水力発電についても年間を通して発電が行えます。

今年の冬は降雪量が少なく、エルニーニョの影響等、今後の天候が心配されますが、新たな元号「令和元年」に豊穰の秋を迎えられること祈ります。



白川ダム、中津川橋より上流を望む



犬川黒川取水塔、水中ポンプ2台設置